



ぶぜん

# 市議会だより

November 2009 No.66

## 主な 内容

- ◆ 9月定例会議案審議結果 ··· 2P
- ◆ 議案の概要 ··· 3P
- ◆ 決算状況 ··· 4P~
- ◆ 一般質問 ··· 6P~
- ◆ 特別委員会レポート・編集後記 ··· 12P

## 千束保育園 運動会



# 平成21年9月定例会 議案審議結果

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果	
議案第42号	豊前市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全会一致	可決
議案第43号	豊前市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	文教厚生	全会一致	可決
議案第44号	豊前市営駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全会一致	可決
議案第45号	中津市との間において定住自立圈形成協定を締結することについて	総務	全会一致	可決
議案第46号	福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合を組織する地方公共団体の数の増減及び福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合規約の変更について	総務	全会一致	可決
議案第47号	福岡県介護保険広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県介護保険広域連合規約の変更について	文教厚生	全会一致	可決
議案第48号	福岡県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の増減及び福岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	文教厚生	全会一致	可決
議案第49号	平成21年度豊前市一般会計補正予算(第1号)	全委員会	全会一致	可決
議案第50号	平成21年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	文教厚生	全会一致	可決
議案第51号	平成20年度豊前市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	全会一致	認定
議案第52号	平成20年度豊前市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	文教厚生	全会一致	認定
議案第53号	平成20年度豊前市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	文教厚生	全会一致	認定
議案第54号	平成20年度豊前市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	文教厚生	全会一致	認定
議案第55号	平成20年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	総務	全会一致	認定
議案第56号	平成20年度豊前市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	総務	全会一致	認定
議案第57号	平成20年度豊前市営駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	総務	全会一致	認定
議案第58号	平成20年度豊前市バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	総務	全会一致	認定
議案第59号	平成20年度豊前市水道事業会計歳入歳出決算の認定について	産業建設	全会一致	認定
議案第60号	平成20年度豊前市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	産業建設	全会一致	認定
議案第61号	平成20年度豊前市東部地区工業用水道事業会計歳入歳出決算の認定について	産業建設	全会一致	認定
意見書案 第 2 号	国直轄事業負担金の廃止を求める意見書(案)の提出について	産業建設	全会一致	継続審査
推薦第1号	豊前市農業委員会委員の推薦について	一	全会一致	推薦
意見書案 第 3 号	地方自治体における経済危機対策に係る補正予算の速やかな執行に関する意見書(案)の提出について	一	全会一致	可決

## 議案の概要

平成21年第3回定例会は、9月1日から9月18日までの18日間の会期で開催されました。本定例会には、条例3件、予算2件、決算11件、その他の案件4件の合わせて20議案が提出されました。提出された議案は、それぞれ所管の委員会で慎重に審査され、すべての議案を原案どおり可決しました。

6月議会から継続審査になつていた「国直轄事業負担金の廃止を求める意見書案」については再度継続審査となりました。また、今回、「経済危機対策に係る補正予算の速やかな執行に関する意見書案」が議員提案され、全会一致で可決しました。また、東部ブロック選出の農業委員に欠員が生じていたため、1名の補充推薦をしました。

## 推薦

農業委員会委員が1名補充推薦されました。  
(敬称略)

北崎光彌  
豊前市大字三毛門

# “定住自立圏構想が動き出す”

## 中津市と定住自立圏形成協定を締結することについて 全会一致で可決しました

今、地方は人口減少、少子高齢化、大都市圏への人口流出など厳しい現状にさらされています。そこで、分権型社会にふさわしい社会空間を形成するため、人口5万人程度以上の市が中心市となって、周辺の自治体と連携をしながら、定住のための生活基盤の整備を図り、魅力あふれる地域（定住自立圏）を形成するのが、定住自立圏構想です。

今回の協定には、中津市民病院を中心とした小児の医療分野で診療体制の充実を図ること、また、大分県北部勤労者福祉サービスセンターで福利厚生事業の充実を図り、雇用環境の改善を図ることなどが盛り込まれています。さらに、公共交通のネットワークを強化するため、バス路線の新設拡充も協定内容に含まれています。

1つの自治体だけではなかなか実現できない、効率の悪い事業が、この定住自立圏構想によって広域で柔軟に実現できることから、この構想には大きな期待が寄せられています。

## 市営宇島駅駐車場の使用料金が 値下げされました

議員からの指摘により値下げされました。  
新料金は10月1日から適用されています。

- 1時間につき 「210円」 → 「100円」  
(ただし、入庫からに変更になりました)
- 1日につき 「1,030円」 → 「500円」
- 1月につき 「5,150円」 → 「5,000円」



# 平成20年度 会計別決算状況

(単位:千円)

会 計 名		歳 入 (A)	歳 出 (B)	形式収支 (C=A-B)	翌年度へ繰り越 すべき財源(D)	実質収支 (C-D)
一 般 会 計		10,624,435	10,411,345	213,090	87,831	125,259
特 別 会 計	國 民 健 康 保 險 事 業	3,771,114	3,315,583	455,531	0	455,531
	老 人 保 健	473,102	476,870	△ 3,768	0	△ 3,768
	後期高齢者医療事業	359,982	353,382	6,600	0	6,600
	住宅新築資金等貸付事業	9,718	46,118	△ 36,400	0	△ 36,400
	公共用地先行取得事業	0	0	0	0	0
	豊前市営駐車場事業	11,704	11,165	539	0	539
	豊 前 市 バ ス 事 業	35,599	35,599	0	0	0
合 计		15,285,654	14,650,062	635,592	87,831	547,761

# 平成20年度 公営企業会計決算状況

(単位:千円)

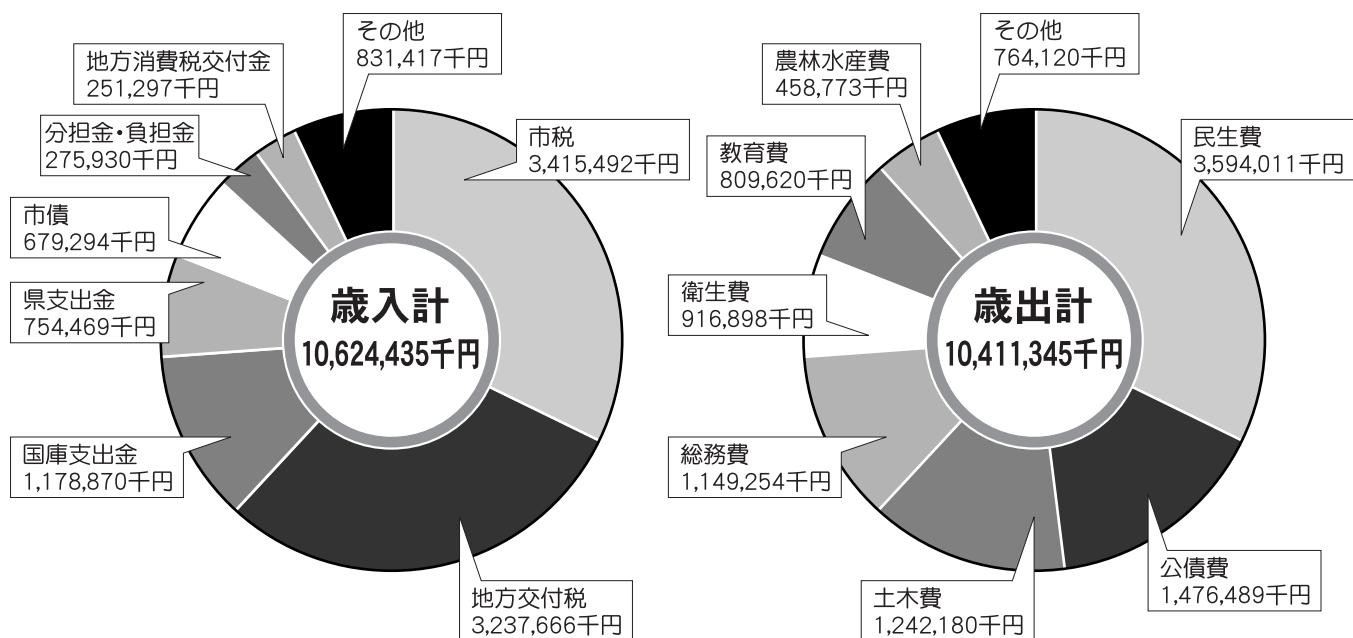
会 計 名 收 支	水 道 事 業	公共下水道事業	農業集落排水 施 設 事 業	東部地区工業 用 水 道 事 業
収益的収入	536,391	399,693	32,043	19,131
収益的支出	519,342	479,518	39,770	17,547
差 引 額	17,049	△ 79,825	△ 7,727	1,584

※ 水道事業は黒字になっているものの、一般会計からの繰入金が7,570万円含まれています。

※ 水道事業は平成20年度末で、約3億2,280万円の累計赤字を抱えています。

※ 公共下水道事業及び農業集落排水施設事業は、赤字解消に向けた取組みが急務です。

# 平成20年度 一般会計決算状況



## 平成20年度の主な事業

### 教育・文化の振興



求菩提山史跡整備事業

### 住環境の整備



上町団地第2期建替事業

### 農林業の振興



荒廃森林再生事業

### 道路・街路の整備



上町～沓川池線街路事業  
(供用開始は信号設置後11月下旬になる予定です。)

# 平成21年第3回(9月)定例会 一般質問

今回は、会派の育成・充実を図るため、会派単位での質問形式を試行しました。

いずれの会派も、事前に十分打ち合わせをして、市政について様々な視点から鋭い質問をしていました。

なお、会派に所属していない議員にも、質問できるように配慮しています。



## 9月7日(月)

<b>豊友会</b>	磯永優二 中村勇希 榎本義憲	市長交際費 住民サービス 定住促進対策
------------	----------------------	---------------------------

## 9月8日(火)

<b>ぶぜん風の会</b>	山本章一郎 尾澤満治 岡本清靖	京築アメニティ構想 農業支援 NPOによる中山間地域の維持管理 中学校の武道必修化 ブロードバンド導入 図書館の指定管理者のあり方 防 災 有料広告
<b>同志会</b>	渡邊 一 岡田義則 爪丸裕和 福井昌文	出産育児一時金 乳幼児医療費支給制度 障害者向けの公共住宅 新型インフルエンザの対策 職員育成 タウンマネージメント事業の見直し 県事業の負担金見直し
<b>無会派</b>	鎌田晃二	新型インフルエンザの取組み 緊急通報システム 防 災

一般質問は、各定例会(年4回)ごとに行われます。

市民の暮らしに直接関係のある質問もかなりありますので、是非傍聴してみてください。  
そして、色々な感想や意見をお聞かせください。

**市長 交際費**

榎本議員 地方自治法に、「地方公共団体は住民福祉の増進を図ることを基本とする」と明記されているが、豊前市の場合は、財政難を理由に各種住民サービスが切り捨てられており、このような思われる。以下何点かについて伺いたい。

乳幼児医療費の支給制度で、周辺自治体と格差がある。良いほうに合わせるべきではないのか。また、南部地区の無医村地域に一週間に一度ぐらい診療所を開設できないものか。については地元出身医師の対は徐々に是正したい。診療所

**市長 交際費**

榎本議員 交際費の必要性は認められるが、結婚式の祝儀に使うのはどうか。使途基準を作り市民に疑惑を持たれないようすべきではないのか。また公表する考えはないのか。

市長 使途基準は作つた。会通念上の儀礼の範囲内で適正に執行したい。公表は相手方の立場もあるが、市民に分かるようにしていただきたい。

## 豊友会の質問

**市長 乳幼児負担金について**

榎本議員 建築後數十年経ち、一部耐震工事が必要な旧校舎事に6千万円を見込んでいる。

**市長 県内では政令都市と周辺都市が資産割を採用している。資産は固定資産税で既に課税、納付されるのに納得がいかない。年金暮らしの高齢者等にとって負担が大きすぎるのではないのか。**

**榎本議員 北高校跡地の旧校舎を利用した施設整備にどれ位の費用をかけるつもりか伺いたい。**

**榎本議員 A E D (必要に応じて心臓に電気ショックを与える、心臓の働きを戻すことを行なう)を高齢者が集まる公民館等にもつと設置できないのか。**

**総務課長 市内公共施設29カ所に設置しているが、今後、年次計画をつくり、設置台数を増やしたい。**

応を引き続きお願ひしたい。

に莫大な費用をかけ、無駄な投資ではないのか。

市長 選挙公約でもあるし、市民の理解は得られているものと考えている。

榎本議員 小中学校の統合計画と耐震対策はどのようになっているのか。

教育長 今後、小学校の統合については考へていらない。

学校については4校統合の答申をいただいているが、目途がたっていない。耐震診断については順次行つており、基準以下については耐震工事を行う。



榎本議員 宇島駅は豊前市の玄関である。その玄関口に自転車が散乱したままになつてゐる。なぜ対策を講じないのか。

財務課長 每年1回の放置自転車撤去を2回に増やすとともに、指導員を配置し、マナ

ー改善の指導に努めたい。

磯永議員 インフルエンザ対策についての市の考え方をお聞きしたい。

市長 手洗い、うがい、マスクの着用が第一と考

機永議員 前記以外対策はないようだが、ワクチンに限りがある中で市民が不安にならないよう、接種補助金も含めて市として万全の対策で臨んでいただきたい。

若い親にとって、保育料の負担は大きい。現行は、第2子、第3子が同時に保育園に通つていいと保育料の減免措置はない。同時に通つていても、第2子、第3子が減免措置を受けられるよう改められないか。現行の第3子の無料対象者は12人しかいないのではないか。

福祉課長 現在、当市では国の定める徴収基準を下回つた保育料を定めている。これを議員のご質問のように改めると、6~8千万円の負担増となる。したがつて困難と考える。

市長 現時点では課長の答弁しか言えないが、そう遠くないう時に決断したいと考えている。

今後は少子化対策にもつと力をいれるべく頑張りたい。

磯永議員 現在、高齢者施策として、温泉入浴割引券を配布している。

老人会の加入者だと60歳でも配布しているが、未加入者は65歳以上が対象である。不公平ではないのか。

市長 老人クラブ育成対策として実施しているが、指摘の

件は検討したい。

## 定住促進対策

機永議員 赤熊南分譲地の販売ができるない土地について、市が具体的な対策はしていない。

まちづくり課長 PRはしてい

るが具体的な対策はしていない。

機永議員 指摘から半年も経ち、何もしていなくては如何なものか。企業誘致にも減免措置があるが、是非対策を講じて定住促進に繋げていただきたい。

市長 指摘は真摯に受け止め、成果が上がるよう努めた。

榎本議員 高いお金を払い、都市計画マスターープランを業者に策定依頼しているようだが、都市計画審議会もあるしなぜ職員で作成できないのか。また、その計画書は豊前市の街づくりにどのように生かしていくのか。

市長 職員の意見も十分反映されるし、交通解析等専門的な分野もあり、今回は第3者的な機関に依頼した。ご理解願いたい。

## 消防行政の中長期的 戦略の策定を

吉永議員 豊前市の消防団は昭和30年、9カ町村合併以来の組織を引き継いで今日に至っている。

半世紀を経過した今、時代の変化に対応した消防行政の確立が求められると思うが、現状と課題についてどのように認識しているのか。

まちづくり課長 東九州道開通に向けたプラン策定で、地域資源を活かした賑わいと安らぎが共存するまち・人づくりを目指したい。

機永議員 人口増対策のためには「若者が地元で就職できること」が大事と思うが、市长の考えをお聞きしたい。

榎本議員 有効求人倍率が「1

を切る厳しい雇用状況になつてゐる。自ら企業訪問をしお願いしたい。

市長 有効求人倍率が「1

を切る厳しい雇用状況になつてゐる。自ら企業訪問をしお願いしたい。

榎本議員 廃公共施設と空家の活用、また南部地区の文化的資産を利用した取り組みはできないのか。

市長 指摘は真摯に受け止め、成果が上がるよう努めた。

生活環境課長 空家の調査をして、台帳を作成したい。これを様々な部署で活用したい。

財務課長 南部の自然、農産物を利用した都市間との交流を図りたい。農家民泊は実現に向け取り組んでいる。

## 健友会の質問

吉永議員 豊前市の消防団は

昭和30年、9カ町村合併以来の組織を引き継いで今日に至っている。

半世紀を経過した今、時代の変化に対応した消防行政の確立が求められると思うが、現状と課題についてどのように認識しているのか。

吉永議員 消防行政の根幹に



しかし、サラリーマン団員の方が7割占めており昼間の火災の場合、課題が残る。それと団員の高齢化、全国平均が38歳、本市の場合45歳でこの点も課題と考えている。

吉永議員 組織と装備についてはどうか。

総務課長 高齢者世帯の訪問指導、救護、啓発活動の先頭に立つていただく女性消防団員、また機能別団員組織（例えは重機を扱える土木組合の組織）などの育成も必要と考える。

吉永議員 装備については現在、ポンプ車14台、小型積載車4台、本部司令車1台で県下でも多い数の装備を誇っている。

触れる部分は、市長の諮問機関である「消防委員会」を活用すべきではないのか。

総務課長 分団長会議、役員会等もあるが、消防団のあり方等について、今後、消防委員会に諮問したい。

尾家議員 広域圏の常備消防が配置されている中で、地元消防団の車両の更新については、消防委員会でしつかりし将來方針を定めていただきたい。

市長 今年度中にもう一度消防委員会を開きたい。

### 定住自立圏の問題

古川議員 中津市との間で「定住自立圏形成協定書」を締結するにあたり、教育分野での合意はあるのか。

財務課長 本市から中津市の公立高校への区域外就学の件について、協定項目として申し込みを行つた。しかしながら、総務省の見解で該当しないとの指摘を受けた。今後、積極的に要望活動を続けたい。

古川議員 吉富中の生徒は行けて、他の中学校の生徒が行けないのは不公平ではないのか。

教育長 教育長 戦前からの歴史的流れがあるようだ。

ベースに文化、伝統、歴史的なものを共有する自治体の連携が求められるが、歴史的なものの中に通学自由権があり、昔は中津の学校に自由に通っていた。

古川議員 学校の選択肢も増え、自転車で通学できる範囲内である。是非、実現に向け努力をお願いしたい。

市長 難しい面があるが、両県の教育委員会へ声が届くようになしたい。

### 防災メールのシステム

古川議員 6月定例会でも言

つたが、またしても火災発生通知の誤メールがあった。危機管理の責任者としての見解は。

総務課長 まずもつてお詫び申し上げたい。個人開発のソフトを借り、試行的に市内団員の方に流しているが、将来的には広域圏内の全市町に流れるようにシステム改修を図りたい。

古川議員 誤メールも中にはあるうが、あとどの処理、対策をきちんとしていただきたい。団員の人は行動がとれず困っている。

古川議員 私は一律に減らすのはどうかと考える。頑張っているところには必要に応じて増やしても良いのではないか。

市長 そして監査も単なる会計監査ではなく、補助金の使途、効果等まで踏み込んだ業務監査をすべきと考えるが。

### 公共工事の入札改革

尾家議員 これから自治体経営は更に厳しさを増す。経費の削減、無駄遣いをやめる事を最優先に取り組まなければならぬ。

尾家議員 このことで一番の問題は公共工事の入札がうまくいくことの廃止をやらないと、豊前

豊前市が出資、補助金を出している団体との関係

いないことだ。一般競争入札を1件500万円以上に下げたが、成果があがっていると思うか。

副市長 平均値をとればそれなりの数値は出ているが、個別を見れば思うようになつてないものもある。

尾家議員 地元優良業者の育成を理由に条件付で多くの入札から市外業者を排除していないものもある。

古川議員 市が支出している補助金の総額が平成16年度から約6千5百万円減り、平成20年度は4億6千万円になつた。どのような認識があるのか。

財務課長 行政改革大綱に基づく「集中改革プラン」により、見直しを行つた。全体で10%縮減を目標に取り組んでいる。

古川議員 私は一律に減らすのはどうかと考える。頑張っているところには必要に応じて増やしても良いのではないか。

財務課長 全国多くの自治体が地域要件を行つており、これをばらずと市内業者が利益を被ることになる。

尾家議員 それはあなた達の親心だよ。市民の税金で工事を行つてはいるという意識がない。

副市長 今後の成果を見極めながら、段階的に見直したい。

尾家議員 などは「電子入札」を導入している。豊前市もこれを導入する時期ではないのか。

財務課長 検討はしているが、小さな自治体が単独でやるとシステム開発や維持費に大きなコストがかかるので、もうすこし研究したい。

尾家議員 経費削減、無駄遣いの廃止をやらないと、豊前

市の財政はやつていけなくななる時期が来る。早急な見直しをお願いする。

録した病院に行くようになつてゐる。

長期入院・施設入所により、利用されていない装置は10台あり回収を行つた。

### ■電子入札とは?■

電子入札とは、従来紙により行なわれてきた入札手続き及びこれに関連する情報公開を、インターネット技術を利用して電子的に行なうことができるようになしたもので。

このことにより、応札者は自分の事務所にいながらにして入札行為等を行うことができるため、移動時間の削減や事務の効率化が図られます。

また入札に関する情報が広くインターネット上でも公開されるため、入札・契約制度の透明性も向上します。

録田議員 特別養護老人ホーム等の施設での集団感染を防ぐ対策はどうか。

### 福祉課長 高齢者施設・障害者施設・各事業所については県から直接、施設へ情報の周知を行つてある。

録田議員 新型インフルエンザワクチンの助成について市として考えはあるのか。

### 市民健康課長

厚生労働省でワクチン接種の優先順位が公示されたが、国の保障制度を

みながら、協議していきたい。

録田議員 感染拡大を防止するという事でもっと啓発活動を行つていただきたい。持病の方等には注意を促すとか、人工呼吸器の保有台数を把握していく必要がある。

録田議員 昨年議会でも質問したが、過去に倒れた方へ優先的に設置はできないのか。

また設置者で長期入院等の把握はどうなつているか。

福社課長 申請書・訪問調査等で、過去に倒れたことがあるか、発作を起こしたことがあるか等の身体状況・病歴に応じて優先順位を決定し設置を行つている。また、

## 無会派の質問

### 新型インフルエンザの取組み

録田議員 豊前市における国・県医療機関との連携体制について伺いたい。

### 緊急通報装置

録田議員 情報収集し、京築保健福祉環境事務所が集約することによっている。そこで連携し発症等があれば連絡が来るようになつてきている。

録田議員 重症患者が発生した場合の搬送・受け入れ態勢はどうか。

市民健康課長 市内には1施設登録がある。重症患者については救急搬送時に事前に登



### ■京築アメニティ構想

録田議員 在宅介護支援センターに安否確認を委託しているが、1件200円、年間40万8000円予算がついて

いるが、実際かかる費用はどうくらいか。

録田議員 在宅介護支援センターに安否確認を委託しているが、1件200円、年間40万8000円予算がついて

いるが、実際かかる費用はどうくらいか。

録田議員 在宅介護支援センターに安否確認を月1回行い相談を受けている。毎月、業務報告をしてもらい緊急を要する対応があつた場合は、訪問等をしている。平成20年度の実績は2057件、41万1400円である。

録田議員 在宅介護支援センターに安否確認を月1回行い相談を受けている。毎月、業務報告をしてもらい緊急を要する対応があつた場合は、訪問等をしている。平成20年度の実績は2057件、41万1400円である。

雨時の対応、避難場所などを載せておきたい。

録田議員 要援護者の避難対策、地震における揺れやすい地層や地盤のマップ、液状化や火災の被害が予想される地域等いろんな分野の情報を入力して頂きたい。また耐震補強、避難訓練などの取り組みはしておられるか。

録田議員 要援護者の避難対策、地震について当市は意識が低いと反省している。防災ハザードマップの中には地震対策や危険地帯等も入れておきたい。

録田議員 地震について当市は豊前市にあるか。

録田議員 耐震化の相談窓口は豊前市にあるか。

録田議員 地震について当市は豊前市への来客が220万人いる。そこで、築上北高の跡地利用は今後重要な一つとなる。議員ご指摘の点も力を入れてはどうか。

録田議員 企業にBCP策定(事業継続計画)の啓発を行つていく考えはあるが、相談に対応できるよう勉強したい。

録田議員 企業にBCP策定(事業継続計画)の啓発を行つていい考えはあるか。

### ■京築アメニティ構想

## ぶぜん風の会の質問

### 山本議員 養鶏場から出る悪臭の原因となつている鶏糞を自然に返すという視点から肥料として農地に還元できないか、お伺いしたい。

れば、効果があることが実証されている。水稻や野菜の有効な肥料として利用拡大を図つていきたい。

**山本議員** 農業振興の一環として、新規就農者に対する支援があれば、お聞かせ願いたい。

**農林水産課長** 県の無利子貸付制度や新規就農者定住促進事業を活用するとともに、JA普及センター等にて就農に当たり各種講習会や研修会を行っている。



**農林水産課長** 森林浴は心と体の健康に効果があることが解明されており、現在、県下ではうきは市と黒木町が森林セラピー基地として認定されている。本市も、調査の上、認定が受けられるよう取り組みたい。

**岡本議員** 岩屋では、来年度のNPO法人立上げに向けて協議をしているが、市としてどのような行政支援ができるか、お尋ねしたい。

**副市長** 県知事の認証を受け、法務局で設立の登記を行つたものについては、共同でできるものがあれば、進めていきたい。



**岡本議員** 中山間地の維持管理事業を活用するとともに、JA普及センター等にて就農に当たり各種講習会や研修会を行っている。

**岡本議員** 24年度から中学校で武道が必修化されるようだが、どこで、どのようにする予定か。

**教育長** 学習指導要領では、柔道、剣道、相撲の中から、一つ選ぶことになっているが、剣道であれば、学校の体育館で練習ができる。また、授業は体育の授業時間にやることになるが、年間10～14時間になります。武道の時間に充てるとなつてやつていけるようにしたい。

**岡本議員** 求菩提山や犬ヶ岳の遊歩道を整備して、森林浴や森林セラピーに活用してはどうか。

## ブロードバンド導入

**岡本議員** 合河・岩屋地区での過疎化を防ぎ、農家民泊や山村留学を促進するためには、光ファイバーの高速通信が不可欠と思うが、市の考えをお聞きしたい。

**財務課長** 光ファイバーは、NTTとも協議をしたが、費用が2億円を超えるということで、ADSLにした経緯がある。ブロードバンド環境になつてない地域については、今後解決策を検討していきたい。

**図書館の指定管理**

**尾澤議員** 図書館のモニタリングは、どのようなシステムでやっているのか、お尋ねしたい。

**教育課長** モニタリング機能を持った「図書館施設の運営に関する協議会」を年4回開催し、その中で利用者の意見等を反映させながら、よりよい方向に行くよう進めていく。

**尾澤議員** 今回館長が代わり、新しい館長は仕事をもつていいのか。

**教育課長** 管理仕様書に、館長、副館長又はいずれかの者が常駐することとなつており、館長が不在の場合は副館長が対応している。

**尾澤議員** 新図書館への引越しのためのタイムスケジュールはどうなつてあるか。どの位の期間、閉館しないといけないのか。

**教育課長** 新図書館開館後に混乱が生じないように、図書の整理を入念にしなければならず、3～4か月は休館しなければならないと思われる。

(注) その後の協議で、図書館の休館は1か月間に変更になりました。

## 防災

**尾澤議員** 新図書館への引越しのためのタイムスケジュールに基づいて定期点検もやつている。

池やバッテリーの交換をし、法令に基づいて定期点検もやつしている。

## 同志会の質問

**乳幼児医療費支給制度**

**福井議員** 子育て支援の充実

そして少子化対策は当市にとって重要な課題である。現在の制度で、3歳以上は所得制限を設け医療費を助成しているが、これをなくす考えはない。

**市民健康課長** 所得制限の見直しとなると、県の制度の対象外となり医療費は全額、市の負担となる。一定以上の所得がある方については負担を願いするのが適切だと考える。

**福井議員** 以前議会で、対象年齢引き上げも訴えてきたが受け入れられない。中津市・吉富町は所得制限なしである。近隣市町に合わせる考えはないか。

**市長** 今後、検討していく



**市長** ト仙の郷ができ、鳥井畑から築城の寒田への道も開通した。求菩提や犬ヶ岳を中心、地元の人が希望をもつてやつていけるようにしたい。

**尾澤議員** AEDを配備してから2～3年が経過したと思うが、使おうとしたら動かなかつたということがないよう点検はしているか、お尋ねしたい。

**総務課長** 市は現在29台保有しているが、必要に応じて電

## 障害者向け公共住宅

福井議員 障害者向け公共住宅の戸数はどれくらいあるか。また入居について公募の仕組みはどうなっているか。

建設課長 上町南団地2戸。新しく建つ上町団地2戸。計4戸になる状況である。一般公募と同じ仕組みである。

福井議員 障害者や弱者の方に対する優先的な入居をお願いしたい。申請窓口では、車椅子以外のバリアフリー対応住宅などの説明も十分にしてほしい。

建設課長 今後、検討していくたい。また窓口では十分な説明を親切、丁寧にしていただき。

福井議員 当市においても感染による被害は心配されるが、どのような対応を行つているか。

市民健康課長 手洗い・うがいの励行やマスクの着用など文書にて呼びかけている。市役所内でも消毒液の設置や健康管理をしている。今後も市報等で感染防止の啓発を積極的に行いたい。

福井議員 学校・企業・高齢者施設での予防や対策は。

教育課長 県からの通知により生徒の手洗い・うがいの励行また消毒液の設置を行う。

総務課長 行政としては感染予防のため緊急時の子供用マスクも若干の確保はしている。

市民健康課長 企業・商店等にも感染予防、相談場所・健康管理の文書を送付している。

福祉課長 県から施設へ文書での情報周知を行つてている。各施設で独自の対応している。

福井議員 今後もインフルエンザ対策の徹底をお願いしたい。県や保健所と常に連絡を取り合いながら対応や措置を講じてほしい。

だが。  
総務課長 住民のニーズに応える市職員の力量が重要で、人材育成・やる気をどうするかが課題である。各所属長が中心となつて部下への指導を行いたい。また指導があれば頂戴したい。

福井議員 他の自治体への派遣または民間の経営感覚を取り入れるという事で企業への出向をしている町もある。こういった人材交流も取り入れた改革が必要である。常に危機感をもつて住民サービスが停滞することがないようしっかりとした人材を育てて頂きたいたい。

内容について説明してほしい。

まちづくり課長 豊前市TMO構想のもとに中心市街地を活性化し活力あるまちづくりを目指して商工会議所を母体に商店街、地域住民、豊前市

が連携して行つてきた事業である、空き店舗活用・ビックリ夏祭り・若手後継者の育成・商業者地域の活性化につながる勉強会等を行つている。

福井議員 平成20年度決算で調査研究費120万円程又庁費25万円程が執行されているが、この事業を継続する必要性がどこにあるのか。今まで専門アドバイザーの方の意見を聞いて新しいまちづくりを目指していくということでお願いしている経費だ。庁費は主に旅費だ。評価については商店街の活性化に繋がっていると考えている。

まちづくり課長 調査研究費は商工会議所からまちづくりの専門アドバイザーの方の意見について新しいまちづくりを見直していくといふことである。今までの評価を聞きたい。

福井議員 県の公共事業費の一部を市町村が負担しているが、県が見直しを検討している部分を見直すのか。当市の負担金の状況、県との協議についてどう進めていくのか。

財務課長 見直しについては来年度から検討していくとのこと。平成21年度は1億5124万4000円の負担金が計上されている。

## TMO構想

商業地の活性化(タウンマネジメント)を行う機関の略称。様々な主体が参加し、まちの運営を総合的に調整しプロデュースするのが役割。中心市街地活性化対策の目玉として導入された。

## タウンマネージメント 推進事業見直し



爪丸議員 以前は国の補助事業だったTMO構想、当市はこの事業を継続して推進していきたい。

福井議員 以前は国の補助事業だったTMO構想、当市はこの事業を継続して推進していきたい。

爪丸議員 民間より高いというのは事実である。もっと自覚をもつて見合った仕事をしつかりやつて欲しい。人材を育てるためにも管理職の教育もやるべき

福井議員 学校・企業・高齢者施設での予防や対策は。

爪丸議員 財源については趣旨から外れないような方向で予算執行をお願いしたい。

## 次の定例市議会は 12月

議会へのご意見を  
お寄せ下さい  
豊前市大字吉木955  
TEL.82-1111 内線1311  
<http://www.city.buzen.fukuoka.jp>

### 議会を 傍聴しましょう

市議会の様子を知る最  
もよい方法です。多数の  
方の傍聴をお待ちしてい  
ます。

### 会議録閲覧の お知らせ

議会だよりの内容は、  
議会の様子を要約したも  
のです。会議の詳細を知  
りたいかたは、総務課・  
議会事務局にある会議録  
をご覧ください。

また、豊前市のホーム  
ページにも「会議録」を  
掲載していますので、ご  
覧ください。

- ◆ 発行：豊前市議会
- ◆ 編集：編集委員会
- ◆ 印刷：上森印刷所

#### \*編集委員\*

委員長 山本 章一郎  
副委員長 鎌田 晃二  
委員 今本 文徳  
委員 榎本 義憲  
委員 福井 昌文

市議会だよりは資源保護のため  
再生紙を使用しています。

# 議会制度調査特別委員会 レポート

『議会制度調査特別委員会』は、今年5月29日に1回目の会議を開いて以来、9月までに7回の会議を開催しました。この特別委員会は、議会基本条例の制定を中心として、様々な議会改革について調査研究することを目的として設置されたものです。

平成12年にいわゆる地方分権一括法が施行し、分権改革が進むに従い、地方自治体の果たすべき責任、とりわけ議会の責任はこれまでとは比較にならないほど重大になってきました。このような動きの中で生まれたのが、議会にとって最高規範と位置付けられる「議会基本条例」

です。議会基本条例は、平成18年5月に、北海道の栗山町で全国で初めて制定されて以来、今年9月末現在で、72の自治体で既に議会基本条例が制定されていますが、今なお、多くの自治体で、この議会基本条例の制定に向けて取り組まれているのが現状です。豊前市は、来年6月議会への上程を目指しています。

議会制度調査特別委員会は、これまで、「議会及び議員の活動原則」、「市民と議会の関係」、「議会と市長等との関係」、「委員会の活動」などについて、審議を重ねてきました。その主たる目的は、市民の負託に応え、市民の意思を市政に反映させることにあります。市政の情報公開を推進し、透明性を高めることが市民の信頼を確保する絶対条件だと認識しています。

市民の皆さんの中を市政や議会運営に反映させたいと考えていますので、ご遠慮なくご意見・ご要望をお寄せください。



### サモア諸島・スマトラ沖 地震義援金

被災者への募金を議員全員で  
行いました。

### 編集後記

「地獄の長い箸」という説話がある。地獄にいる衆生たちは、長い箸のため、目の前に並べられたご馳走を食べられずに苦しむ。

一方、仏国土は、同じように長い箸を手にしていたが、皆楽しそうだった。なぜか。それは、長い箸を利用し、他の人の口にご馳走を運び合い、互いの食事を可能にしていたからである。

地獄と仏国土の違いは環境ではなく、人の心にあることを示したたとえ。現代社会は、「助け合う」精神が希薄になっているように感じる。この助け合う精神が、現代社会の行き詰まりを開拓する大きな示唆を与えていくように思う。

友愛を掲げる鳩山内閣が誕生し、期待と不安が交錯する中、わが豊前市にどのような影響を及ぼすのか見極め、対処してまいりたい。

鎌田晃二